



2024年5月吉日

【プレスリリース】

各位

GOTS年次報告2023

GOTS、マイルストーンに達成: 新たな規則とツールをリリースし、繊維産業をサステナビリティと責任ある企業行動へと支援

2023年のハイライト:

- GOTSバージョン7.0のリリース
- GOTS認証施設が8%増加し、89カ国に拡大
- 認証企業向けのデューデリジェンス実施ハンドブックのリリース
- インドでFarm-Gin Registryが導入され、投入データをより適切に評価するための直接的なリンクを構築
- GOTSが欧州宇宙機関とMarpleと共同でAIオーガニックコットンプロジェクトを開始
- #Behindtheseamsキャンペーンが2100万以上の個々のユーザーに到達

認証されたオーガニック繊維のための世界的な加工基準として、非営利団体Global Standard (シュトゥットガルト、ドイツ) によって管理されるGlobal Organic Textile Standard (GOTS) は、2023年を重要なマイルストーンに達成した年として認識しています。GOTS認証施設の拡大から改定された基準のリリースまで、GOTSは変化する法律や社会と環境への責任要求に対応する企業のための指針としての役割を継続して果たしました。

2023年は、25の承認された認証機関が報告した、注目すべき14,676の認証施設(2022年から8%増加)が、89カ国に存在することで締めくくられました。

GOTSバージョン7.0の実施

1年間の移行期間を経て3月1日から、GOTS認証を取得した施設は2023年3月にリリースされたGOTSバージョン7.0に準拠して運営されます。GOTSバージョン7.0とその付随する実装マニュアルは、オーガニックテキスタイルを生産し、環境と人権デューデリジェンスを原料から最終製品にわたりバリューチェーン全体で確実に遵守したい企業にとって必要な包括的なソリューションを提供します。

「GOTSの核心は、ソリューションを提供することです。GOTSは、リスク管理や運用効率向上のためのツールとして、持続可能なバリューチェーンへのコミットメントを自主的に示すために、常に繊維業界のパイオニアに活用されてきました。」と、Global Standardのマネージング・ディレクターであるClaudia Kerstenは述べています。「新たな、または今後導入されるサプライチェーン規制に伴い、GOTSは企業が法律に適合していることを証明することを支援するという、更なる役割を得ました。」

GOTSバージョン7.0では、GOTS認証を取得した事業者が、積極的にバリューチェーン全体での負の影響を特定し、評価し、軽減するための6段階のデューデリジェンスプロセスとその実施ハンドブックが導入されました。

未来を見据えて

GOTSは2023年に、世界最大のオーガニックコットン生産国であるインドで2つの主要プロジェクトを開始しました。2022年～2023年の収穫期に導入されたFarm-Gin Registryは、農場とジン（綿織り工場）を直接繋ぎ、農場や農場グループからオーガニック種綿のデータを収集することで、インテグリティを強化するツールとして機能します。

世界初の試みとして、GOTS、欧州宇宙機関（ESA）、およびソフトウェア企業のMarple社は、オーガニックコットン栽培システムの遠隔衛星モニタリングの可能性を示すことを目的とした新しい実証プロジェクトを開始しました。このプロジェクトでは、ESAの衛星データを使用して人工知能（AI）を訓練し、インド全土にわたるコットン畑を検出し、それらを栽培基準に応じて自動的に分類します。標準化された収量指標を取り入れることで、この革新的なアプローチにより、GOTSは特定地域におけるオーガニックコットンの収量を現実的に推定することも可能になります。さらに、オーガニック認証を取得していないものの、オーガニックでの栽培に移行する可能性があるコットン畑を認識できるようになると期待されています。プロジェクトの最初の結果は、6月に発表される予定です。

消費者教育

GOTSは11月、ステークホルダーへの啓蒙活動の一環として、360度の啓蒙・教育キャンペーンを実施しました。消費者と業界関係者の双方を巻き込むことに成功したこのキャンペーンは、GOTS認証企業とその製品にスポットライトを当て、消費者が買い物をする際に、より良い選択ができるよう後押ししました。250を超える認証企業が参加したこのキャンペーンは、全世界で2,100万人以上の人々にリーチし、世界的に大きなインパクトを与えました。

日本の動向について

2023年は日本での活動においてもさらなる進展を遂げた年でした。おかげさまで、年末には93件の認証施設が報告され、これは前年の62件から大幅に増加しました。GOTSを紹介させていただく機会が増え、政府機関、繊維産業や学生の方々という多様なステークホルダーに向けて講義をさせていただきました。また、昨年は2019年以来初めてのGOTSラウンドテーブルを対面とオンラインのハイブリットで開催させていただきました。

法規制やガイドラインの厳格化により、企業に環境的・社会的な責任を求める圧力は世界的に高まっています。こうした動きは日本企業にも影響を与えており、認証取得を試みる企業は増加傾向にあります。これは、日本の関係者様がGOTSを企業が責任ある行動を支援する重要なツールとして評価していることを示しています。一方で、国内の繊維加工産業において、GOTS認証を取得する際に様々な障害に直面していることも事実です。日本において、繊維業界関係者の間での協力的な議論や知識共有の場を設けていき、国内の事業者様の認証取得をさらに促進していきたいと考えております。

年次報告書2023年(英語)は[こちらから](#)ご覧ください。

###

Global Organic Textile Standardについて:

GOTS (Global Organic Textile Standard) は、非営利団体Global Standardが管理する、オーガニックテキスタイルの認証におけるリーディングスタンダードです。原料の収穫から最終製品まで、繊維製品のバリューチェーン全体にわたり、厳格な環境および社会的要件を策定しています。GOTS認証は、オーガニックテキスタイルの完成品のインテグリティを確保し、業界に包括的な解決策を提供し、世界中の消費者に保証を提供します。詳細については、www.global-standard.orgをご覧ください。

 [@globalorganictextilestandard](#)

 [@gots_japan](#)

 [@globalorganictextilestandard](#)

 [Global Organic Textile Standard](#)

 [Global Organic Textile Standard gGmbH](#)

お問い合わせ:

GOTS ジャパン・リプレゼンタティブ 松本フィオナ

メール : matsumoto@global-standard.org